

(1)自治体名：三重県	(2)知事・市区町村長名：野呂 昭彦
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[ 標題 ] 子どもが育つ地域づくり	
[ メッセージ ](50～100字程度) 文化力(人間力・地域力・創造力)をベースに施策を見直し、その一環としてH20年度に「こども局」を設置した。子どもは私たちの未来そのもの、子どもたちの持つ自ら育とうとする力を受け止め、子どもが育つ地域づくりを進めたい。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[ アピールポイント ](50字以内) 「子育て支援」をキーワードに、「みえのこども応援プロジェクト」に企業、NPO等大人の力が結集中	
[ 概要 ](200字以内) 「みえのこども応援プロジェクト」(応援団長萩本欽一氏)は、協賛企業と「みえ次世代育成応援ネットワーク」と三重県のトライアングルで進める「子どもが育つ地域づくり」に向けた取組です。初年度のH21年度は、子どもの主体性を尊重しながら進める「こども会議」(22会議)、暖かい気持ちを伝え合う「一行詩コンクール」(テーマ『ありがとう』)、地域の支援者「子育てサポーター」の養成とネットワーク化等に取り組んでいます。	
(5)担当課 / 直通番号	健康福祉部こども局こども未来室 059-224-2404
(6)HPのURL記載可	<a href="http://www.pref.mie.jp/D1KODOMO/index.shtm">http://www.pref.mie.jp/D1KODOMO/index.shtm</a>

(1)自治体名：三重県鈴鹿市	(2)知事・市区町村長名：川岸光男
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[ 標題 ] 安全・安心・安定への道しるべ	
[ メッセージ ](50～100 字程度) 「安全・安心・安定への道しるべ」は、現在策定中の次世代育成支援行動計画(後期計画)のキャッチフレーズです。鈴鹿市は、在宅育児家庭への支援に重点を置き、地域の人的・物的資源の関係性を「連携から連動・連結へ」と進めています。(110 字)	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[ アピールポイント ](50 字以内) 子育て支援センターを拠点とした子育て支援総合コーディネート事業(31 字)	
[ 概要 ](200 字以内) 子育て支援拠点施設として開設した子育て支援センターには、所長、主任保育士、保健師、子育て支援総合コーディネーターが配置され、年間約3万人の利用者があります。子育て支援総合コーディネーターは、地域の物的資源である公民館などを活用した出前保育、来所者との関係性を生かして育てる子育てサークル、子育て支援行事の一元管理による月刊情報紙「バンビーキッズ」の発行などを行っています。(186 字)	
(5)担当課 / 直通番号	保健福祉部子育て支援課 / 059-382-7661
(6)HP の URL 記載可	市・ホームページ <a href="http://www.city.suzuka.mie.jp/">http://www.city.suzuka.mie.jp/</a> 子育て支援センター <a href="http://www.city.suzuka.lg.jp/life/shisetsu/9709.html">http://www.city.suzuka.lg.jp/life/shisetsu/9709.html</a>

広報すずか(2009.7.5)特集「子育て支援センター・りんりん」

<http://www.city.suzuka.lg.jp/kouhou/gyosei/open/shiryuu/hakkobutsu/koho2009/pdf/20090705/20090705.pdf>

子育て情報紙「バンビーキッズ」

<http://www.city.suzuka.lg.jp/kouhou/gyosei/open/shiryuu/hakkobutsu/index31.html>

(1)自治体名：三重県いなべ市	(2)知事・市区町村長名：日沖 靖
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[ 標題 ] 地域の子育て力回復宣言！	
[ メッセージ ](50～100 字程度) 子育て支援センターに「子育て応援団」が結成されました。地域のボランティアを中心とした「子育て応援団」に絵本の読み聞かせや、おもちゃ作りなどを協力いただくことで、希薄化しつつある地域の人間関係が再構築され、地域の子育て力が回復することを期待します。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[ アピールポイント ](50 字以内) 孤立した子育てをなくすために地域住民と協力しながらのアウトリーチ型の子育て支援施策の実践	
[ 概要 ](200 字以内) いなべ市では「こんにちは赤ちゃん訪問」、6ヶ月時の「ブック・スタート」、「1歳おめでとう訪問」、2歳時の「ブック・R eスタート」と全ての子どもを就園まで途切れなく支援する体制を整えています。また、交通手段がない等の理由で子育て支援センターに来所できない保護者を対象に地域の公民館や集会所で行う「出前ひろば」、公園等で行う「出前テントひろば」にて人と人をつなぎ子育て仲間の輪を広げ、地域の子育て力を育みます。	
(5)担当課 / 直通番号	福祉部こども家庭課 / (0594) - 78 - 3513
(6)HP の URL 記載可	<a href="http://www.city.inabe.mie.jp/">http://www.city.inabe.mie.jp/</a>

(1)自治体名：三重県玉城町	(2)知事・市区町村長名：辻村修一
(3)知事、市区町村長からの“わがまちの子育て応援宣言(メッセージ)”	
[ 標題 ]だれにでも あいさつできる たまきの子	
[ メッセージ ](50～100 字程度) 目と目を合わせ、声と声を交わし、心と心を通わせるための第一歩があいさつである。共に育み安全で安心して生活できる町づくりをめざしている。	
(4)子育てお国自慢(特色ある取組、ユニークな取組、力を入れている取組等)	
[ アピールポイント ](50 字以内) 「ぶっくすたーと」を通じて途切れのない子育て支援に全力	
[ 概要 ](200 字以内) 絵本を通して親子のふれあいを深めてもらい、同時に発達や虐待など気になる親子の早期発見、親の養育態度の観察など支援が必要な家庭の早期発見につなげている。 1歳6ヶ月健診時に育児総合アドバイザーやサポーターが絵本の大切さを伝え、2,000円分の絵本の引換券を手渡す。町契約の書店で引き替え可能。 未交換者へのアプローチにより家庭状態を観察。子育て総合支援室、保健師、保育士などが連携し、途切れのない支援システムを構築。	
(5)担当課 / 直通番号	生活福祉課 健康管理センター(西野) 電話 0596-58-7373
(6)HPのURL記載可	<a href="http://www.town.tamaki.mie.jp/tamnet/fuho/hoken/kosodate.html">http://www.town.tamaki.mie.jp/tamnet/fuho/hoken/kosodate.html</a> <a href="http://www.town.tamaki.mie.jp/tamnet/cyousei/kouhou/kouhou/2008/200806.pdf">http://www.town.tamaki.mie.jp/tamnet/cyousei/kouhou/kouhou/2008/200806.pdf</a>